第 21 回　ウルトラ FM 番組審議会

1　開催年月日

令和 5 年 12 月 20 日（水）　10：00～11：00

2　開催場所

須賀川市民交流センターtette　ルーム 3－1

3　委員の出席

委員総数　　6 人

出席委員数　　5 人

（1）出席委員の氏名

堀江祐介　（会長）

安藤清美　（副会長）

村上香織

横山知佳

真壁正人

（2）欠席委員の氏名

久保木彩歌

（3）放送事業者側出席者

柳沼宏延（放送局長）

4　あいさつ

（堀江会長）

新年度を迎えるにあたり、色々な事業がありますが、ウルトラ FM ではこれからも魅力ある番組制作に努めてほしい。

5　議題

（1）　特別番組「晩秋の須賀川を彩る牡丹焚火」（12 月 1 日放送分）について

（2）その他

6　議事の概要

（1）　特別番組「晩秋の須賀川を彩る牡丹焚火」（12 月 1 日放送分）について事務局からの概要

説明の後、意見聴取を行った。

（安藤副会長）

番組は、パーソナリティがナビゲートし、須賀川市の文化振興課職員、拮抗吟社の江藤先生、当日講演会を行った横澤先生、会場の人のインタビューの構成で行われた。感想として、初めに牡丹焚火がイメージする話をパーソナリティが説明した方が、より牡丹焚火のイメージが出来たと思う。放送は、牡丹焚火が行われた日より 2 週後とであれば、牡丹焚火で選ばれた俳句を紹介しても良かったのではないか。また、市職員と江藤先生への質問のインタビュー内容が同じだったが、答える内容に差があったことに違和感。出来れば、同じ質問をせず、違う内容の方が聴いている側として聴きやすかったと思う。講師の横澤さんでは、経歴の説明を入れた方が良く、会場のインタビューでは 9 人は少し多かったと思う。しかし、番組内容はとても興味のある内容だった。

（村上委員）

須賀川しかない行事である牡丹焚火の番組は放送されたことは良かった。歴史や経緯などについて市職員の説明は分かりやすかった。講師の講演では、いつ、どこで行われたか、などの説明があっても良かった。私は牡丹焚火に行ったことが無いが、ラジオ放送を聞き、来年は行きたいと感じた。インタビューでは、遠方者がいたことにびっくりした。須賀川の牡丹焚火が全世界に誇れる、日本の美しい文化に繋がるものだと感じる番組だった。

（横山委員）

牡丹焚火のインタビューの仕方では、市職員の方がまとめて説明した一方、江藤先生の場面では同じ質問に対し、違う表現の回答だった。講師の横澤先生のインタビューでは、俳句への気持ちが心を動かすもので、是非講演を聞きたかった。来年も放送してもらえればと思う番組だった。

（堀江委員長）

来場者のインタビューは、厳選しても良かったと思う。番組を聞き感想として、これまで牡丹焚火を見たことが無いので、淡い青色の炎を見て見たいと感じた。100 年前の牡丹園の園主だった柳沼源太郎さんの歴史を再度知るきっかけとなった。牡丹の古木を燃やすことは、環境省の「かおり風景 100 選」にも選ばれているので、その場でしか感じられない体験であることを、再度認識できる番組だった。

（真壁委員）

ラジオを聞くまで、牡丹焚火を知らかなった。牡丹焚火で淡い青色の炎を出すことを知り、勉強になった。来年はぜひ参加したい行事を感じた。ラジオを通じて知らない人が知るきっかけとなり、今後も放送してほしい。

（2）その他

・特になし

7　報告

事務局の柳沼局長から、年末年始に放送される特別番組、1 月以降に放送される特別番組及び、一部番組放送の改編について説明が行われた。

8　審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

・特になし

9　審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：令和 5 年 12 月 28 日

10　その他の事項

次回の放送番組審議会日程について

・令和 6 年 3 月を予定。開催日は会長と相談の上決定し、委員に連絡する。